

「卓上の華・テーブルクロスと皿敷」展

川島織物文化館 2024年2月26日(月)～2025年1月31日(金)



紋織卓被「蜀江文」明治後期

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：光岡 朗）は、本社併設の川島織物文化館（京都市左京区）で、「卓上の華・テーブルクロスと皿敷」展を2月26日(月)より開催します。本展では、川島織物セルコンが明治中期より手掛けた卓被（「卓」を「被う」テーブルクロス）や卓敷（「卓」に「敷く」テーブルセンター）、皿敷（食器などの下に敷くナブキン）の史資料やコレクションをご紹介します。

明治初期、文明開化によって、日本の暮らしは大きく変化しました。西洋の様式を取り入れた洋風建築が盛んに建てられると、空間に調和する室内装飾織物のアイテムとして卓被や卓敷、皿敷が求められるようになりました。二代川島甚兵衛は、1886（明治19）年の初めての海外視察で西洋式室内様式に触れ、これらの室内装飾織物の必要性を実感。帰国後、早々に室内空間のトータルコーディネートのための独自の意匠や織物製作方法を考案、普及に努めると同時に、輸出の可能性も見据えたモノづくりをすすめました。例えば、皿敷などは、単価を抑えて量産を試みる一方で、小さな限られたスペースに、日本を代表する名勝や四季の草花、能楽や絵画等の文化を表現し、世界の万国博覧会に出品し、輸出拡大への足掛かりとしました。

本展では、綴織卓被「鳳凰宝艸麒麟瑞雲」の原画や紋織卓被「正倉院花喰鳥」、紋織皿敷「群鶏」（未仕立て）をはじめ、明治から昭和にかけての卓上を華やかに彩った織物やその原画、織下絵などを展示します。また、二代川島甚兵衛が1889（明治22）年に京都・三条高倉に建てた3階建ての洋館「織物参考館」3階の内観をイメージしたコーナーを設置、当時の室内装飾空間を感じていただけます。ぜひ、この機会に室内装飾織物のデザインの魅力をお楽しみください。

開催概要

タイトル：「卓上の華・テーブルクロスと皿敷」

会期：2024年2月26日(月)～2025年1月31日(金)

場所：川島織物文化館（京都市左京区静海市原町265）

休館日：土・日・祝祭日、夏期、年末年始

川島織物セルコン休業日

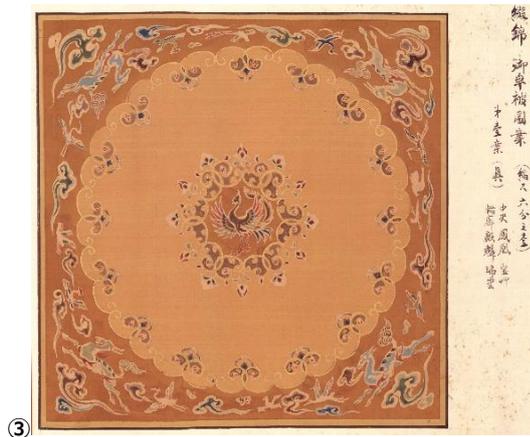
入館料：無料

※ 見学は事前予約制です。見学をご希望の方は、あらかじめインターネットでのご予約をお願いします。

詳細はホームページをご確認ください。

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan>

■ 主な展示作品



- ① 紋織卓被「正倉院花喰鳥（しょうそういんはなくいどり）」昭和期
- ② 紋織皿敷（左：皿敷 未仕立て／右：図案）「群鶏」明治期
- ③ 綴織卓被原画「鳳凰宝艸麒麟瑞雲（ほうおうほうそうきりんずいん）」原画：澤部清五郎 大正期
- ④ 紋織皿敷「藤」明治期
- ⑤ 紋織卓被試織（部分）「土耳其風模様（トルコふうもよう）」大正期

■川島織物文化館 概要

1889（明治 22）年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた3階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のごだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265

株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏期・年末年始（川島織物セルコン休業日）

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学をご希望の方は、あらかじめインターネットでのご予約をお願いします。

利用案内 <https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/use/>

見学予約 <https://outlook.office365.com/owa/calendar/Bookings@ksc.kyoto/bookings/s/iYJ4Q8tLSE6DFzWmH7GkTw2>

見学希望日の前日(※)までに、お申込みください。

※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日

ホームページ：<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

アクセス：●地下鉄 烏丸線「国際会館」駅より

・京都バス（50/52 系統）「小町寺」下車 徒歩約 5 分

・タクシー 約 10 分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約 7 分

●京都駅より タクシーで約 40 分



見学予約ページ

